



294

才 3

1-1-1

春江圖畫

名區小景

千歲園截板

愛知県有物品

山水乃我意を愛し雪月花を友と  
し境かゝり時々つと蹤跡を  
見ふと心より心より畫圖小志  
之の如く春江子山水を癖何とぞ  
に遠近能奇勝を探り春夏秋冬の風  
雨氣富の真景を縮募しる事毎  
年酒酌後種々尾張の勝地三百餘景  
乎尚如今其中に就て十番を抄出

諸家乃詩歌連能を志す。名画小景  
尤號々世に名所舊跡を諸書に散  
見とす。或は星霜を経る古の實  
景を以て無名な俗地を却て奇傑の  
眺望ありて國々小の類多し。之  
乃如くは地不似る。誰か之を  
こゝに於て。或は小の書ありて  
かゝるもの韻士駱客勝地を幽討す

家乃一取て其の終端を并  
とす事あり

弘化四年春

七十五翁雷雲



A294



名區小景初編卷之上

大幸橋

鐵門高擁萬株松壽昇千秋瑞景濃觀月樓臺司白  
 虎引流溝涵學青意上公才德同先聖大國文章繼  
 祖宗日射黃金鷄尾耀人、仰見五層重

通成

ともよれてふ人ほあつこのは標乃まらてふ笑う志のさしり  
 この酒たふしけいの亭少うぬ言標、揚乃名やう有けん  
 大津波のこころまらとりふさけいほくれいぬ人介う

仲敏

重好

昭豊

小牧山

繞離馭路翠雲橫仰見一山臨廣平云是當年柳營

學山

五ノ一



大幸橋



小牧山



跡松涛傳海凱歌聲

一舉義兵壽域開 猶看旆色止雲隈 川通南海如流 惟孝

練山在平田 若覆杯 綠樹相交常靄 群峯遠阻獨

崔嵬 千秋萬古甘棠德 長對兩城是盛哉

わつらう 林のこころいかりもつゆくたけりよきとれ 和雄

早稲にたけりあけのきとこいさぬれうまもりあきとよ 啓

眼くくや 本くけしん 日 稻むじろ 且齋

野並上野松

いー人のゆさこのわしれまーやんより上座の松の一枝 守胤

人介より上座小のこいり 松地を並の里に栞んてく小 道直

まーに枝をふまひててそなよこらうのよんのけり 宗利



衣ノ浦



鞍ヶ湖



上ノ山

北方大日社

老杉麓日碧松材混：濤聲走白沙映渡江南望江  
北一拳如滌是金華

風文

衣の浦

こゝろもよの衣の浦ハま風ノ派の花ニかあうひかたま  
しらの海衣くしうろまむと月をハ波るれ林の月れ月  
云のあち衣の浦かまてこれハあハまの月波るの月し  
春の月くしうの衣の浦よのありもは波るあ川  
ふしう風吹ハまけり白く乃くちもれうはるりあじ  
波るぬ衣の浦のまきくかきむ夕日小如つりな  
くちくくと貝あむるの日永のり那

忠重

徳瑞

意然

信子

必有

嘉寛

鵬居

鞍ヶ洲

山下池枯草作茵行將遺事問村民世間唯畏鞍橋  
怪不省娥眉巧殺人

火とていかにいふにね鞠の闇ふふくく丹一のかり

鶺鴒多須堤

うまてハをいひやそれ月 黄山

うさ法ハ多人のまんまの水 鶺鴒

消のこさる不風るれよあう水 月窓

琵琶島

花開樹吹暖柳乱水浮塵晴景難看過有人來問春 牧山

去とれうううー月と行、又とれもあぬ山とぬ 春

眉山

琵琶島

黄山

鶺鴒

月窓

牧山

春

鶺鴒多須



琵琶島





釣有規有魚旨且多

鳩いよ川ほかりとくや秋の水鶴豊  
崎よ川や西小かくる丘の森草屋

東谷山

のりくもらもれも屋産の林のまふんこれ陽山 忠元

風宮寺

弘化三年しとみしつうのしららく天ふ船のワヨリケ  
いこまて

たりわどいさふかまむ吹風の宮傍しつうもら唐本 千晴

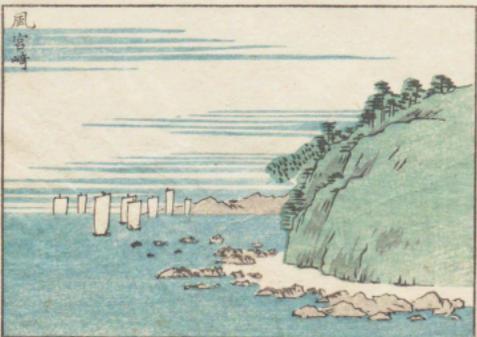
よらりこそあつさつもまどらうふよもなふお風宮の傍 嘉寛

富士塚

此地留英傑勤銘千古榮一盤緑如株知是富神名 鳳文



東谷山



風宮寺



津島天王社

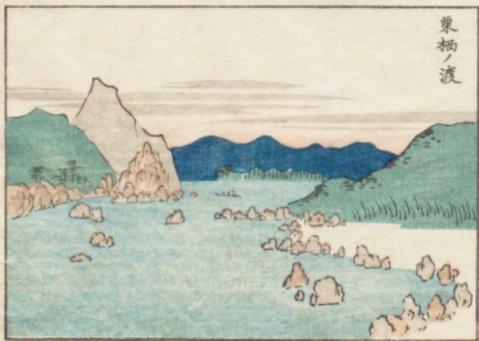
わがわがわが八重垣の法あけく八重乃乃とまらけいこさ 敬一

水野石樋

ぼくろくまきとくりしとけつきの唐ふあ下石小せそをろく  
乃をろく入外  
 石くろ水の流を乃つよりれいちまらにわらわゆるのま 全  
 以くわあわつもの庭をわそいし何の石とすくろりりり  
 してまればそまを敷くく流くくくくくくくくくくく 全  
いのちいそとま  
 けくろあれいそに空の酒れ火よりそりりりりりりりりりり 全  
まろ  
 ちろくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく 全  
 鷺堂

粟栖渡

秋山穿實水蒼茫一朶紅雲欲夕陽小艇往來都是 九阜



徒棹郎終日送人忙

徒棹郎のんかかそ乃乃アトモ世とらへもかきかんやと  
ふつふに山ひこまてしひます氷のけうくけア奴ら

冥亮

保右

岡坂山富士

岡坂風光好登臨眼界平東方一撮雪的、富峯晴

徳瑞

足坂の山ふんくれかふの根は天はき井かわはふふたり

正次

足坂や山回もつりこゆのナヤ

智山

千間猿尾

二州天限大河横猿尾従来亦有名兩後山、趣非

圓竹

一派聯齡連慙吟情

千刻々も一日ゆりあき花う都

三輪堂





橋川



大谷洞

昔日馮夷怒觸山、崩石裂開如閨千秋終作蛟龍  
 伯孝  
 窟吐納靈潮去復還

眼鼻石

揚くて夢をりけを花ふふ  
 楚山  
 去風や夏小かりー城のうき  
 鶴豊

恰如双眼鼻有竅自然穿本非人疾子滿面受飛泉  
 伯淹  
 玄杖の花ののらたりてれういそく年ゆまれがさ  
 正枝  
 世の人れものいわとさむもさうふりま一若も  
 啓

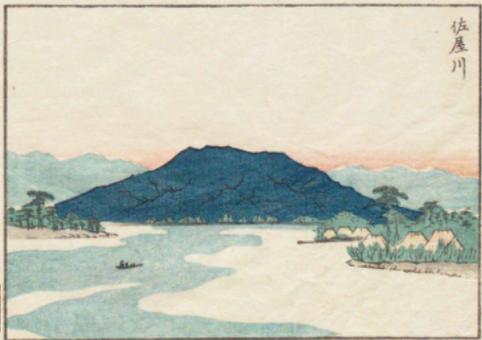
佐屋川

春坡屋敷間遠樹緑廻環新水魚艤長渙舟下柳湾  
 牧山  
 赤んぼ信くこれき花のよこふにややくまのら風  
 宣子

森  
眼  
巖  
石



佐  
屋  
川



五  
十  
七

内津

木  
町  
し  
や  
岩  
り  
あ  
ら  
さ  
ら  
ハ  
口  
月  
村  
静

攀樹捫蘿登險熾風披宿霧送朝曦南臨北望天寒 忠陳

蔚山水一奇雲一寺

義  
稻

重  
躬

芳  
雄

應  
知

馬  
曉

快  
遊

長  
久  
手

尋未長久手時昔戰爭場森氏先驚走池田尽滅亡 維賢  
 神君平喪亂黎庶喜安昌更見殘兵器悲秋暮色荒  
 およそ千の代をくまぬれぬ家世のくまぬれぬ  
 吹鈴の松の麓かきこえてわが日よわけよまゑの山 嘉武  
 篠島の富士  
 篠原まの汐のひよにわね細乃やうきれりのうき香  
 日のかくり先へんくう ふうの 山 兔農 幸國

祖父江堤

眺天風度東雲暗雪嶺殘陽浸浪明滿眼詩情何處 諸緑  
 是布帆幾片衝烟行  
 丙又一水尾濃開沙白如銀堆碧湾堤上蒙高窮目 淵源



内津山



長谷  
佛ヶ根山

篠島  
富士



祖父江堤

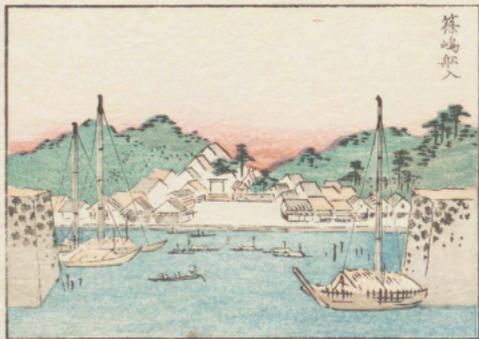


五十五

慶望中屈指十州山

碧水通千里白沙凸堤平西山日將没返照映金城  
 直道  
 白砂一川の白き堤あけくさや風れ山とつくま  
 直持  
 ミナトのあしは川小言藤川高砂くるたては月影  
 貞足  
 ちかぬさ ともとの山の へる岩ゆ くれむさや 國綱  
 みのの山 以中とめくは ともくや たまし切歌乃  
 りや、度さ ともとの川の ぬささふ 小水つらけり  
 夕影さしに わささし かしらひの せゆま一ゆ  
 さなけりて まつふ冥と まつととれ さひまきひ  
 こゝろと 堤のまゆ 尾くさすこ

おんこ子とたろてつとてあ、うねり  
 輝朗



篠島

川中と音のふくみ  
 東風吹やけふふくみ  
 帆のけし  
 辰離

音聞山

清間冥杖獨幽尋石坂  
 追々上古岑山畔千年  
 蕭寺 松篁

こころやみちのちのち  
 清田村之辰の海  
 吹中ふくみ  
 乃 月 浦岳



龜崎

ふせうのつゆもひかして 龜崎のこまの 船もはらやせ  
よつ代のもよひとたのむ 龜崎乃波のまらわそのしほりも  
見やこのまらわのまなみ よつ代よつ代 龜崎のまら

且契夫妻一橋のやうりに里とせりこれ今こ所跡へかむ  
んと茶釜の細もよひわさよ木村ひくさよ龜崎なれ

朝くまら まらや ねとのり 木の 跡

まこそ や 夕 日 も ふ そ ー 加 水  
村 靜 暉 朗 楚 山

夜寒里

かたのけくくもたさう 夜寒里のまら 月 月 夜  
白妙のつらとけりて 里のまら 月 月 夜

守 信  
相 房

村 靜

暉 朗

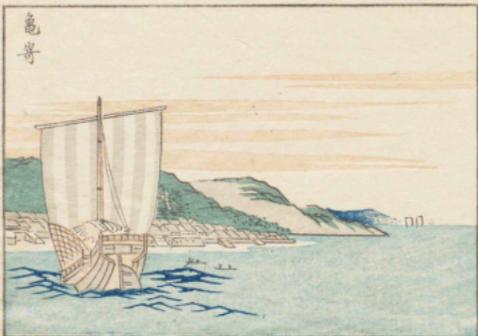
楚 山

義 教

千 晴

守 胤

龜崎



夜寒里

雲川正峯  
屏風岩



秋江渡



屏風岩

衣ころき少山のをりれとて松その里乃秋風 義教  
 葉枕着もむもとけりりふりふり川や松子の里の砦 貞足  
 赤なる松葉のてれりたもに雲もあさわらん 友訓  
 空のひま吹とくふね風ハ秋さの里れ名くやまらん 徳瑞  
 こゝろの松 赤くくくや ちれ 犬 月 底

秋光媚我進鞋遅且詠且吟倉卒詩行到屏風巖下 精一

看山逾覺秀水逾奇

秋江渡

江樹西風老夕陽秋色孤遠沙人去盡帆影又将無 牧山  
 り 玉の岩下をけりむき次 月窓



壺泉寺



長森

龍泉寺

多摩山の鐘はあけくさきくくを林はとけくけく  
 風吹ハ浪のうらとまゆかり林はとけくけく  
 龍うこの砂す。まや 杖日すり 我竟  
 大まてくくマけくけくく 月濤  
 ぬくまうに浪を鴨や向川 春 有秀  
 青林古寺清磬緑野平川白鷗終歲琴書酒卷暫時 寛舟  
 身世虚舟

長森

やまのくくく大森の代くくくくくくくくくくく  
 梅居

本宮山



須佐入江



五共

ふ代みけて衣々浦とこふれお月おろつるその長衣 浪丸

ちよりや俄の中のけーこ限 其奉

本宮山

ほこさけうくや月夜も杉の雪 免農

梅も乃やむやるもなく不子も 茶明

須佐入江

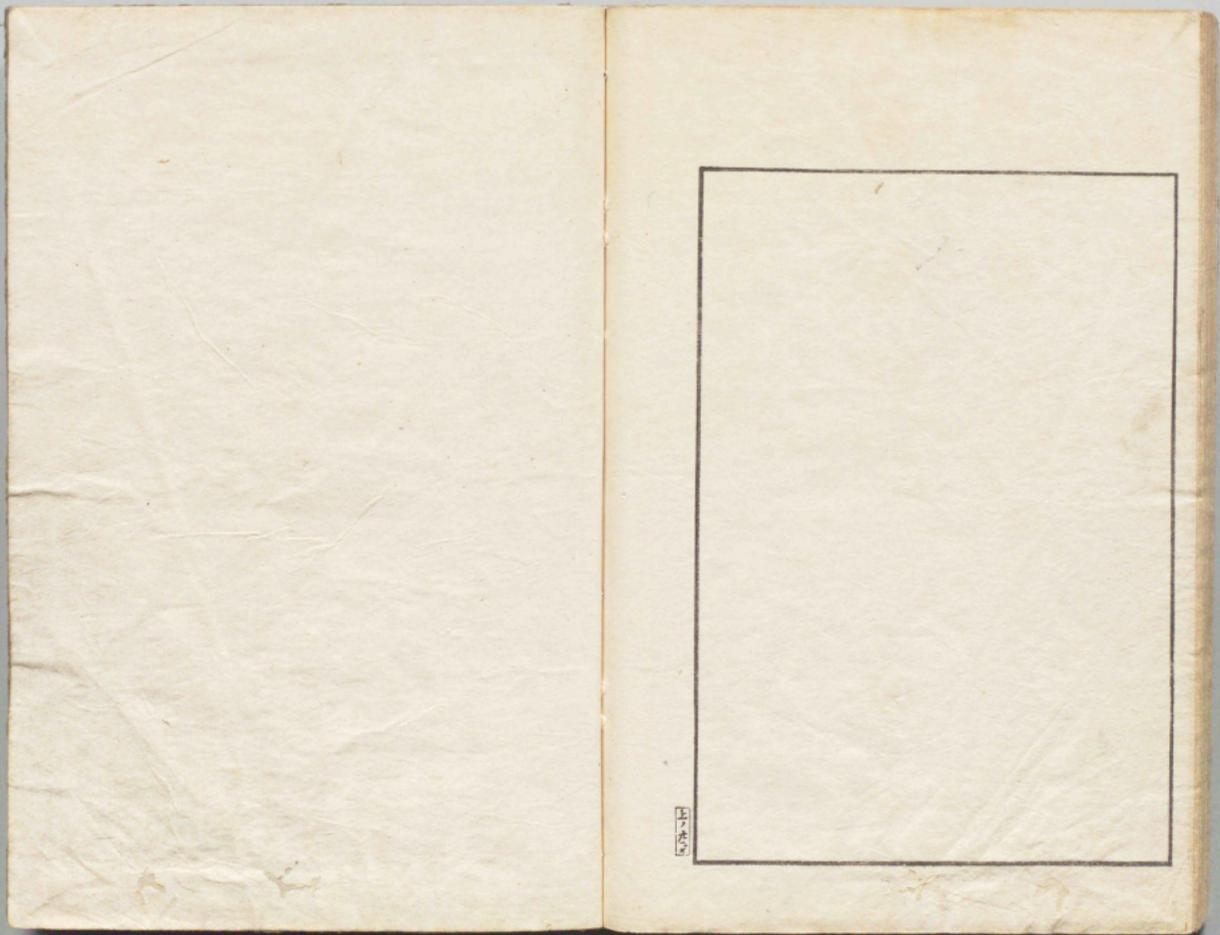
月夜かまんとすもそのゆやももんねほのそらうち 嘉寛

風とよそ夕旅よとちむとすすは入江まきさつわむ 正明

いづ波の事もまけりや毛のちち 楚山

り合て一群まけりちちりちち 春江

名區小景初編卷之上了



箕浦又兵衛